

三重県立図書館システムとの連携に関する仕様書

(2019.4.2 改訂)

1 三重県立図書館の三重県図書館情報ネットワークシステムに対して OAI-PMH プロトコルを用いてデータを送信する機能を持つこと。具体的には、以下の仕様を満たすこと。

- ・ OAI-PMH(Ver.2.0) 仕様に準拠すること。
- ・ XML(ver1.0)仕様に準拠すること。
- ・ 出力文字コードを UTF-8 とすること。
- ・ メタデータ形式は DC-NDL に準拠すること。また、ヘッダ情報として個別識別子がユニークであること。日付については ISO8601 に定めた書式とすること。
- ・ 日付による選択的ハーベスティングに対応すること。また、ListIdentifier および ListRecords の from と until に対応していること。
- ・ 削除済ステータスに対応していること。また、persistent または transient に対応していること。
- ・ resumption Token を使用したフロー制御が行えること。
詳細は「別紙資料 1. resumption Token の動作について」を参照し、データ件数が多い場合でも分割してデータ取得できるようにすること。
- ・ XML のタグ情報にコメントを付与すること。
コメントの内容は「別紙資料 2. XML コメント一覧」に合わせて付与すること。
- ・ DC-NDL のタグ情報は、「別紙資料 3. 三重県立図書館 DC-NDL(RDF)マッピング表」に合わせて対応すること。

2 津市図書館の書誌データへのリンクに関して OpenURL を用いた指定に対応すること。OpenURL の指定が困難である場合には、各書誌に対してパーマリンク(固定 URL)を付与するという対応も認める。

3 上記、OAI-PMH プロトコルによるデータ送信、OpenURL 指定対応の 2 つの仕様に関しては、国立国会図書館と三重県立図書館が公開している以下のガイドラインを満たすこと。

- ・ 国立国会図書館作成「WebAPI によるシステム連携ガイドライン ver.1.4(2018.12.28)」
https://iss.ndl.go.jp/information/wp-content/uploads/2019/01/WebAPIguideline_ver.1.4_20181228.pdf
- ・ 三重県立図書館作成「WebAPI による連携ガイドライン (追補版)」

4 初期データ登録及び全件データ入れ替えを行う際、OAI-PMH 転送での時間がかかりすぎることを避けるため、全データをファイルに出力してオフラインで受け渡すことが可能であること。

- 5 三重県立図書館の相互貸借を分館単位で行っている場合は、分館単位でデータを送信する機能を持つこと。
 - ・ 特定の分館範囲でのハーベスティングに対応すること。ListIdentifier および ListRecords で from と until と同じように areacode として分館指定に対応していること。

- 6 その他詳細については新システム業者決定後、津市、新システム業者、三重県立図書館、三重県立図書館システム業者の間で協議することとする。